

### 令和3年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	地域と町で進める竹林・森林整備事業
事業主体 (連絡先)	松川町
事業区分	(5)環境保全、景観形成に関する事業
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	3,446,000 円 (うち支援金: 2,338,000 円)

#### 事業内容

- ①木材破砕機を購入し、木材用と竹用の刃、アルミブリッジをセットで貸し出す体制を整備した。
- ②毎月のおよりの森整備事業及び自然観察会の開催を開催し、地域住民と行政が一体となって、およりの森の整備を進めた。
- ③伐採した竹の利活用について、講習会などを通じて、町民へ幅広く周知した。



【木材破砕機講習会】

#### 事業効果

- ①木材破砕機の貸し出し体制を整備し、5日間の貸し出しを行い、1,310㎡の竹林整備を行うことにより、地域による竹木整備の推進を図った。また、木材破砕機の講習会を2回(9/12、3/26)行い、合計27名の参加があった。より多くの地域住民が操作できる体制を整えるとともに、森林整備への更なる意識向上に繋がった。
- ②およりの森整備事業を12回実施し、延べ93人参加。地域住民と行政が一体となって、森林セラピーを活かした観光地となるようおよりの森の整備を進めることができた。
- ③適切な森林整備や、およりの森自然観察会(10回、延べ159名)により、森林整備の大切さや地域資源(間伐材や竹)の有効な活用方法について知ってもらい、地域の絆や地元への愛着を深めてもらうなど、森林整備への意識向上を図った。

#### 【目標・ねらい】

- ①破砕機により、荒廃竹林・森林の景観・森林整備の促進
- ②地域住民と行政が一体となって、森林セラピーを活かした観光地となるようおよりの森の整備を進める
- ③森林整備の大切さや地域資源(間伐材や竹)の有効な活用方法について、適切な森林整備や自然観察会を通し周知し、更には地域の絆

#### ※自己評価【B】

#### 【理由】

コロナ渦であったが、予定していた効果が得られた。

#### 今後の取り組み

町内全域の放置竹林や森林に対し、今後も破砕機の貸し出しを継続的に行うことにより、景観保全及びライフライン確保など、より有効な森林・竹林整備を実施していく。また、森林・山村多面的機能発揮対策交付金(国・町)や里山整備事業を活用し整備を行っている団体へも積極的に支援を行い、活動地域拡大を促す。

町と地域住民で森林整備を進めている、「およりの森」についても継続的な整備活動、自然観察会への支援を行い、森林セラピー基地としてより良い活用が出来るよう、アドバイザーを中心に森づくりを促進する。

更には森林整備の大切さや地域資源(間伐材や竹)の有効活用方法についても周知できるよう、木材破砕機の講習会等を活かし、チップ源として自然の中での循環サイクルの作り上げや、竹チップの除草マルチとしての利用などを町民へ幅広く周知し出来るよう、これからも取り組みを行っていきます。